

2023 年度事業計画

I. 社会的養護の必要な子どもの自立支援

1. こども・若者未来基金

- ① こども・若者未来基金による、自立のおうえんを継続します。
- ② 自立援助ホーム、アフターケア事業者、児童養護施設、里親家庭などつながりのある子ども若者を、伴走者（支援者）とともに支援していきます。
- ③ これまでの支援の形態を継続しつつ、伴走者支援の枠をつくります。伴走者支援の枠をつくるにあたり、自立援助ホーム等の意見を聴く機会を設けます。
- ④ 8月に、こども・若者未来基金の募集要項を、児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、中核地域生活支援センター、生活困窮者自立支援相談機関、児童相談所等へ送付し、9月1日から11月15日まで、申請を受け付けます。
- ⑤ こども・若者未来基金の寄付募集目標は、12,000,000円とします。
- ⑥ クラウドファンディングなどを活用しながら、広く県民に周知していきます。
- ⑦ 9月を寄付募集のキックオフ月間として、こども・若者未来基金の趣旨に賛同いただいている県内3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）や他団体と情報を共有し、それぞれの団体に合った方法で寄付を呼びかけます。
- ⑧ キックオフ月間にあわせ、9月、10月にシンポジウムを開催します。
- ⑨ ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12月のボーナス月に寄付を呼びかけます。また、シンポジウムなどの際に呼びかけをします。
- ⑩ 5/27（土）に「こども・若者未来基金 2022 報告会」を開催します。
- ⑪ 8月に基金交流会を開催します。

2. 食料衛生用品支援

基金でつながった子ども・若者への食料衛生用品支援を実施します。

3. 就労支援

就労支援、居住支援について、関係機関と調整しながら連携をしていきます。

4. その他

これまで6年間の実績を踏まえ、行政に向けて政策提案を検討します。

II. 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業

1. ちば子ども虐待防止研究会（通称 JaSPCAN ちば）（2017 年度虐待防止学会ちば大会実行委員を中心とする団体）等と、ゆるやかに連携し、子どもたちの支援につなげます。
2. 千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、啓発のイベントを実施します。

III. 里親家庭支援について

1. ちばこどもおうえんだんは、里親家庭の支援について設立趣旨で謳っています。また千葉県の里親支援機関として位置づけられています。これまで不足していた里親家庭への支援を充実させ、社会的な認知度が増すことは、社会的養護を受ける子どもたちの健やかな成長に繋がっていきます。これまでの経験を活かし、千葉県・千葉市の里親関連の事業にも積極的に応募や参加し、関わっていきます。
2. 「千葉市里親委託等推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況把握、また関係機関や他団体との情報共有を進めます。
3. 千葉市里親学習サポーター事業を受託し、里親家庭の支援を継続します。

IV. 啓発・広報事業

1. 啓発事業

- ① 社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催します。
- ② 児童虐待防止に関する啓発活動を行います。

2. 広報事業

- ① ニュースレターや SNS での情報発信を通じて、ちばこどもおうえんだんの活動や情報を社会へ広く伝えます。
- ② ちばこどもおうえんだんに参加する県内 3 生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）の機関紙等を通じて、組合員に向け、ちばこどもおうえんだんの活動について知らせます。
- ③ ホームページをリニューアルします。

V. 調査研究活動事業

1. これまで 6 年間の実績を踏まえ、行政に向けて政策提案を検討します。（再掲）
2. 「子どもたちの意見をどのように把握しているかの現状を把握するためのアンケート調査を児童福祉施設等に向けて実施します。あわせて、子どもたちが必要とする支援は何かを聞き取り、ちばこどもおうえんだんの活動に反映させます。
3. 2024 年 4 月施行となる女性支援新法や改正児童福祉法等について、他団体と情報共有、連携しながら、施行に向けての課題解決等の取り組みに参加していきます。

VI. その他

1. 2020年度から2022年度まで推薦した学生に引き続き、2023年度は新たに2名の大学生を「パルシステム給付型奨学金」に推薦し、計6名の伴走を行います。施設職員と連携を取りながら、おうえんだんスタッフ複数体制で対応します。
2. 引き続き、「わくわくプロジェクトCHIBA」の事務局として活動していきます。
また、今後の活動を担う人材の確保にも努めます。

VII. 組織運営

1. 運営体制

事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催します。

理事会：年5回

こども・若者未来基金運営委員会：おおむね2月に1回程度

こども・若者未来基金生協実務者会議：5回程度

2. 会員拡大について

- ① 認定NPOとして3,000円以上の寄付者（おうえん会員=賛助会員を含む）が年平均100人以上になるように会員の継続を促し、新たな会員の入会を目指します。
- ② 寄付者の寄付控除について、一層の周知を図ります。

【目標数】

会員種別		目標（人数・団体数）	目標（口数）
運営会員	個人	16人	20口
	団体	5団体	54口
おうえん会員	個人	150人	170口
	団体	10団体	12口

2023年度予算案

【税込】（単位：円）
自2023年4月1日 至2024年3月31日

特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん

科 目	金 額		備 考 欄
【経常収益】			
【受取会費】			
運営会員	600,000		個人16人(20口)、団体5 (54口)
おうえん会員	630,000		個人150人(170口)、団体10 (12口)
受取会費 計		1,230,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金	13,000,000		おうえんだん、こども若者未来基金
受取寄付金 計		13,000,000	
【事業受託収入】			
事業受託収入	1,940,000		千葉県(県里親大会28万)、千葉市(里親家庭学習支援58万) パルシステム(奨学金伴走団体経費108万)
事業受託収入 計		1,940,000	
【その他収益】			
受取利息	100		
雑収益	800,000		つながりサポート返還金他
その他収益 計		800,100	
経常収益 計			16,970,100
【経常費用】			
【事業費】			
こども・若者未来基金	15,586,000		2019/2020/2021/2022年度支援決定分5,256,000円及び2023年度分(伴走団体支援枠を含む)、緊急サポートSOS100万円、伴走者支援費を含む
(人件費)			
給料手当	2,100,000		事務局人件費5~6人分
人件費 計	2,100,000		
(その他経費)			
諸謝金	300,000		講師謝礼等
印刷製本費	180,000		イベントちらし、ニュースレター等
会議費	200,000		基金交流会、基金面接時、パル奨学生面談時経費等
旅費交通費	300,000		イベント時交通費、事務局交通費等
通信運搬費	450,000		電話代、切手代、レターパック、ゆうパック送料等
事務用品費	250,000		コピー用紙、封筒、複合機消耗品等
消耗品費	100,000		段ボール、衛生用品、託児費用等
複合機リース料	136,224		リコーリース
宣伝広報費	20,000		ホームページ管理等
会場費	300,000		イベント会場費等
地代家賃	78,000		事務所家賃
保険料	40,000		里親家庭学習支援用
研修費	100,000		講習会参加費用
租税公課	2,000		印紙等
雑費	500,000		振込手数料(基金、クラウドファンディング手数料12%等)
その他経費計	2,956,224		
事業費 計		20,642,224	

【管理費】				
(人件費)				
役員報酬	600,000			理事長50,000円/月
給料手当	900,000			事務局人件費 5~6人
法定福利費	30,000			労災雇用保険料
人件費 計	1,530,000			
(その他経費)				
諸会費	11,500			いなげビレッジ協議会会費等
印刷製本費	30,000			総会資料等
会場費	100,000			理事会・総会会場費等
会議費	20,000			
旅費交通費	100,000			事務局交通費等
通信運搬費	70,000			電話代、切手代等
事務用品費	300,000			パソコン、コピー用紙、封筒、複合機消耗品等
消耗品費	50,000			事務所内備品等
複合機リース料	34,056			リコーリース
修繕費	100,000			
地代家賃	42,000			事務所家賃
研修費	30,000			
租税公課	5,000			印紙、証紙代等
支払手数料	110,000			税理士報酬
雑費	51,320			振込手数料等
その他経費 計	1,053,876			
管理費 計		2,583,876		
経常費用 計			23,226,100	
当期経常増減額			-6,256,000	2019/2020/2021/2022年度支援決定分5,256,000円 +緊急サポート100万円
税引前当期正味財産増減額			-6,256,000	
法人税、住民税及び事業税			70,000	法人地方税
前期繰越正味財産額			25,959,968	
次期繰越正味財産予測額			19,633,968	